

ささえあい通信

第8号

(発行)2021年7月1日 富士宮市社会福祉協議会 地域ささえあい係

つながりを切らない、孤立させない、
新しいつながりを考える情報を各地区社協へ発信!!

つながりを絶やさない 北山・山宮地区社会福祉協議会

北山・山宮地区社会福祉協議会では、6月19日にふれあい訪問(給食サービス)を行いました。これは75歳以上の一人暮らしの方や体が不自由となり、外出が困難となってしまった方を対象に、民生委員が中心となり、お弁当を届けながら声掛けをする活動です。

この活動は、外出する機会が少なくなった方の様子を確認し、地域とのつながりを絶やさないために行われています。

この日は87の方を対象に活動を行いました。訪問時には民生委員より「お体の具合は大丈夫ですか?これから暑くなるから熱中症に気を付けてくださいね」といった声掛けがあり、訪問された方からは、それに対して「雨の中、来てくれてありがとうございます」といった感謝の言葉や「この間、梅がいっぱい採れたんだよ」といった最近の出来事の話をして、訪問を心待ちにしていたようでした。

親元を離れ新天地で活躍する方が多い中、夫婦のみの世帯や単身の世帯は珍しいものでは無くなりました。しかし、当たり前になりつつあるとはいえ、その世帯にあわせた公的な仕組みやサービスが不足しています。しかし、このような訪問活動はその穴を埋めるだけではなく、対象者と地域とのつながりを保ちます。

今回、訪問させていただきました一人暮らしの方はかなりの高齢の方でしたが、元気な方が多く、庭の手入れなども丁寧にされている方もいらっしゃいました。

このつながりが長生きや健康に良いとするデータもあり、つながりを絶やさないように活動し

た結果、いくつになっても地域で元気に暮らし続けることができているのではないのでしょうか。つながりは簡単なようで難しいテーマですが、地域に良い結果を与えます。今後も継続的につながりが持てるよう推進していければと思います。



▲ふれあい訪問の様子

コラム

新型コロナワクチン接種後の生活

ワクチンを接種した方は、新型コロナウイルス感染症の発症を予防できると期待されていますが、ワクチンを接種した方から他人への感染をどの程度予防できるかはまだ分かっていません。また、ワクチン接種が徐々に進んでいく段階では、すぐに多くの方が予防接種を受けられるわけではなく、ワクチンを接種した方も接種していない方も、共に社会生活を営んでいくことになります。

このため、引き続き、皆さまに感染予防対策を継続していただくようお願いします。具体的には、「3密」の回避、マスクの着用、石けんによる手洗いや手指消毒用アルコールによる消毒の励行などをお願いします。

(厚生労働省 新型コロナワクチン Q&A より)